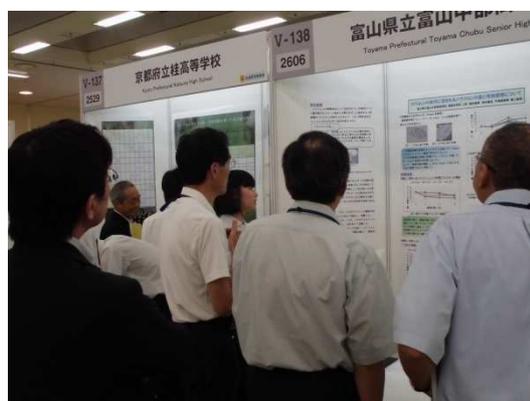


平成29年度 S S H生徒研究発表会

平成29年8月9日（水）10日（木）の2日間にわたり、神戸国際展示場においてSSH生徒研究発表が開催されました。全国から206校、そして海外からも34校が参加し、日ごろの研究の成果を発表し合いました。

本校からは生物班4名が参加し、「ミドリムシの体内に含まれるパラミロンの量と培地環境について」のテーマでポスター発表を行いました。その内容は、近年健康食品として注目されているミドリムシ、その主要成分のパラミロンを効率的に生成させる培地環境（光の有無とグルコース濃度）を探るというものでした。割り当てられた発表場所は2階の奥の方でやや不利な感はありましたが、発表者自身が積極的に声をかけ、見学に来ていた高校生や高校の先生方、さらには大学の教授たちにも聴いていただき、大きな成果を上げることができました。



1日目は開会行事に続き、国立研究開発法人理化学研究所プロジェクトリーダーの高橋政代先生の基調講演がありました。その後ポスターセッション形式で各校が発表を行い、同時に審査員による審査も行われました。2日目は選ばれた上位6校がパワーポイントを使っての口頭発表を行いました。最優秀校には「微小重力下での濡れ性を利用した管内流の制御」について発表した兵庫県立加古川東高校が選ばれました。（ロケットのような実験装置を背負った生徒のグループ）

